

1. はじめに

Typst、とてもいいですよね。Markdown のような書き心地で figure や footnote や参考文献への参照等が書けるためとても気に入っています。その Typst ですがバージョン 0.13 で HTML エクスポート機能が実験的に実装され、バージョン 0.14 では（依然として発展途上の機能ではあるものの）その機能が大幅に強化され、変換対象の関数も増えた上に、`html.elem` を使うことで直接 HTML タグを記述できるようになりました。

そこで今なら Typst でブログ作れるんじゃねえかと考えたのです。作ったのがこのブログです。

Typst で HTML を生成し CSS で色付けるだけなので技術的に難しいことはないのでですがいくつか落とし穴があるのと、HTML エクスポートを実際にやる日本語の記事がみあたらなかったので残すことにしました。

2. 実装方法

文書を単純に HTML エクスポートするなら普通に `typst compile --feature html --format html input.typ` すればよいのですが、この方法でコンパイルすると Typst の内容はすべて body 内に記述されます。そのため、head などにいろいろ記述する場合は `html.html` を使用してエクスポートする HTML の構造を一から記述する必要があります。

また、0.14 時点では align 等のレイアウト系命令がエクスポート時に無視されるため、そのあたりは CSS を使用して実装する必要があります。

3. 詰まった点・落とし穴

3.1. 数式のエクスポートが未実装

現時点では数式のエクスポートが未実装です。しかし、数式を SVG 画像に変換して HTML に埋め込むことができます。[1]

```
show math.equation.where(block: false): it => {
    html.elem("span", attrs: (role: "math"), html.frame(it))
}
show math.equation.where(block: true): it => {
    html.elem("figure", attrs: (role: "math"), html.frame(it))
}
```

3.2. html を一から構築する場合 footnote が使用できない

`html.html` でファイルを生成する場合、footnote を使用するとエラーが出ます。幸い counter は使えるので自分で実装することで対処できます。

```
let note-counter = counter("my-footnote")
show footnote: it => {
    note-counter.step()
    let num = note-counter.get().first()
    html.span(class: "footnote-wrapper", {
```

```
    html.span(class: "footnote-marker", "[" + str(num) + "]")
    html.span(class: "footnote-content", it.body)
)
}
```

参考文献

- [1] 「HTML Export · Issue #721 · typst/typst」. 参照: 2025 年 12 月 13 日. [Online].
入手先: <https://github.com/typst/typst/issues/721#issuecomment-2817289426>